

An aerial photograph of a mountainous landscape. In the foreground, a winding road curves through a lush green forest. A small, light-colored building is visible on a grassy slope. In the background, a range of blue mountains stretches across the horizon under a clear sky.

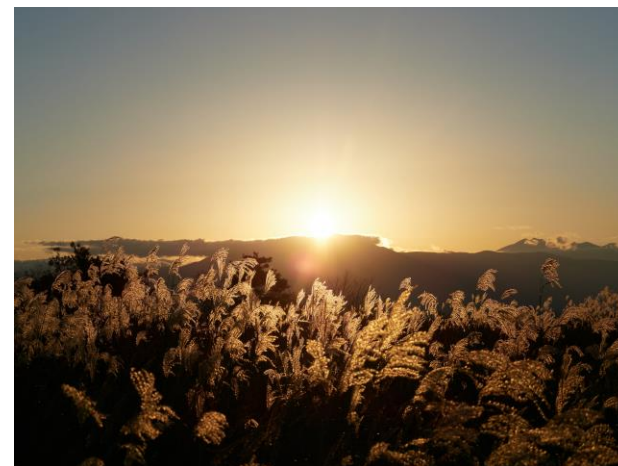
森の明日を支える新しいカタチ

- 塩尻市 森林カーボンクレジット -

塩尻市

自然環境と地域経済が調和したまちづくりを目指して

「塩尻市ゼロカーボンシティ宣言」をさらに推進するために、森林カーボンクレジット創出を開始



ゼロカーボンシティ宣言

1998年「塩尻市環境基本条例」制定以来、行政、事業者、市民が一体となって持続可能な都市の実現に向けて取り組んできました。2023年には「塩尻市ゼロカーボンシティ宣言」を表明。

持続可能な森づくり

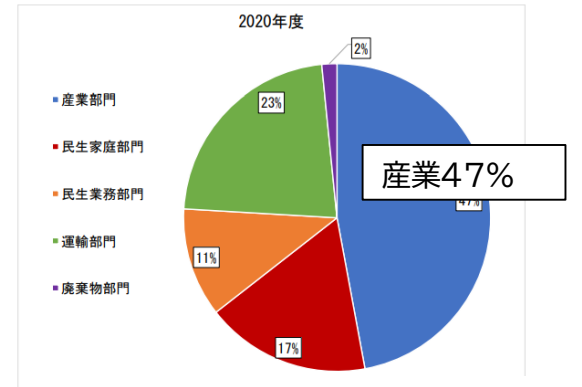
土地の約7割以上を森林が占める塩尻市にとって、森林は重要な自然資源です。豊かな自然環境を維持するため、森林整備を計画的に進め、持続可能な森づくりを目指します。

自然資源を有効活用

本提携により、塩尻市が管理する森林資源を可視化、価値化できます。これまで取り組んできた「環境との共生」をさらに推進するため、森林カーボンクレジット創出を開始します。

自然環境と地域経済が調和したまちづくりを目指して

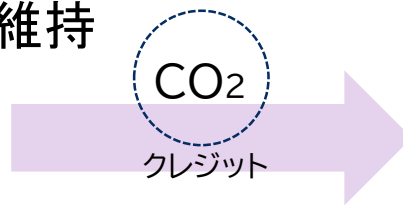
森林カーボンクレジットの売買をとおり、持続可能な森づくりと地域企業の脱炭素を推進



塩尻市内のCO2排出量割合(2020)

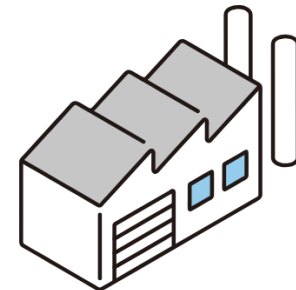
【森林整備】

- ・ 企業価値に貢献する質の高いカーボンクレジットの創出
- ・ 森林整備の持続による多面的機能の維持



【地域経済】

- ・ 自社の価値向上（経済成長と脱炭素の両立）のため購入
- ・ 地域への支援（塩尻市の自然環境保全への貢献）



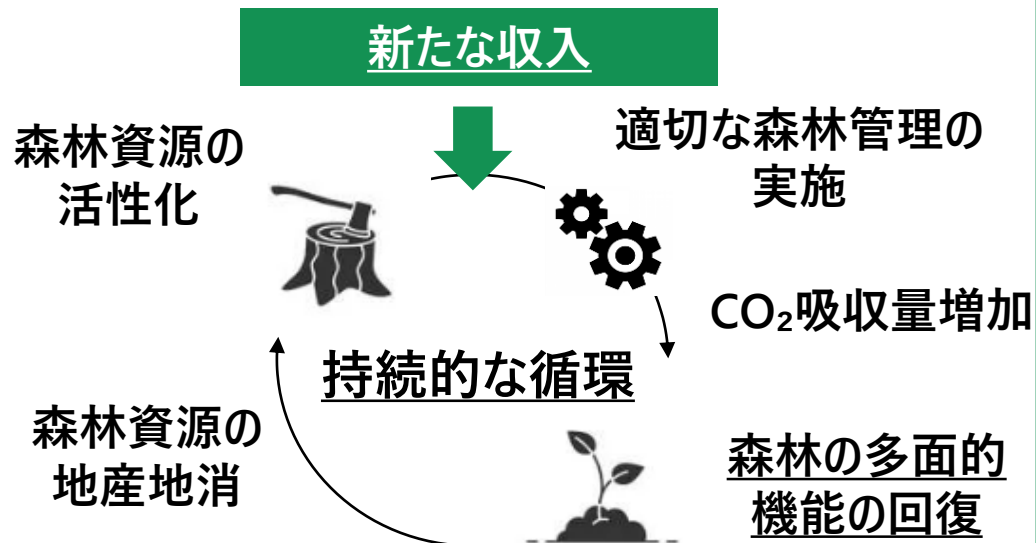
連携協定締結の背景

森林カーボンクレジット創出をきっかけに地域課題の解決

～地域の特性を生かして市民、事業者、行政でつくる塩尻市ゼロカーボンシティを目指して～

ステラグリーンと目指す未来

創出による歳入を地域課題の解決へ



実現したいこと

荒廃化した森林の多面的機能の回復

地域林業の活性化

森林資源の地産地消による木材利用

域内の企業との連携による
環境価値の域内循環

本連携協定の概要

ゼロカーボンの実現に向けた連携協定

- (1) 脱炭素社会の実現に向けた取組みに関すること
- (2) 森林カーボンクレジットの創出に関すること
- (3) 持続可能な第一次産業の推進に関すること
- (4) 地域資源の活用及び関連事業の推進に関すること
- (5) その他地域活性化に関すること